

# 公共事業再評価調査

整理番号 H17-20

担当部課名	農林水産部 漁港漁場整備課	電話番号	017-734-9614
		E-MAIL	gyoko@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (5年)	再評価後 (年)	その他 ( )
---------	-----	-----------	----------	---------

## 1 事業概要

事業種別	漁村総合整備事業			事業主体	県	市町村	その他 ( )																																																				
事業名	漁業集落環境整備事業			地区名等	田野沢	市町村名	深浦町																																																				
事業方法	国庫補助	県単独	財源・負担区分	国	50%	県	15%	市町村	35%	その他	%																																																
採択年度	平成13年度 (用地着手 平成14年度 / 工事着手 平成14年度)																																																										
終了予定年度	平成20年度 (平成15年10月工期変更 当初計画時 平成17年度)																																																										
事業目的	<p>本地区は水道整備未普及地区であり、現在の飲料水については個人管理の井戸水及び湧水を使用しているが、井戸等の湧水が多く安定した供給が困難である。また、生活排水を河川及び海岸へ流しているため、公共用水域の水質汚染が深刻化していることから、事業により衛生的で安定した水道水を供給するとともに、漁業生産の向上と生活環境の改善を図るものである。</p>																																																										
主な内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>当初計画時</th> <th>再評価時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁業集落道整備事業</td> <td>260 m</td> <td>268 m</td> <td>8 m</td> </tr> <tr> <td>水産飲雑用水施設整備事業</td> <td>1.0 式</td> <td>1.0 式</td> <td>0 式</td> </tr> <tr> <td>漁業集落排水施設整備事業</td> <td>1.0 式</td> <td>1.0 式</td> <td>0 式</td> </tr> <tr> <td>緑地・広場施設整備事業</td> <td>7,000 m<sup>2</sup></td> <td>7,000 m<sup>2</sup></td> <td>0 m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>本事業は平成15年度の計画変更において、防災安全施設整備の事業種目を追加及び各事業費を変更。集落道整備の計画路線の変更に伴い事業量及び事業費が増額。 水産飲雑用水施設整備については施設規模の変更により事業費が増額。 漁業集落排水施設整備については現地精査によりマンホールポンプの増設に伴い事業費を増額。</p>											区 分	当初計画時	再評価時	増 減	漁業集落道整備事業	260 m	268 m	8 m	水産飲雑用水施設整備事業	1.0 式	1.0 式	0 式	漁業集落排水施設整備事業	1.0 式	1.0 式	0 式	緑地・広場施設整備事業	7,000 m <sup>2</sup>	7,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>																												
区 分	当初計画時	再評価時	増 減																																																								
漁業集落道整備事業	260 m	268 m	8 m																																																								
水産飲雑用水施設整備事業	1.0 式	1.0 式	0 式																																																								
漁業集落排水施設整備事業	1.0 式	1.0 式	0 式																																																								
緑地・広場施設整備事業	7,000 m <sup>2</sup>	7,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>																																																								
事業費	<p>当初計画時総事業費 1,807 百万円 (単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>~14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>小 計</th> <th>18年度~</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>300</td> <td>330</td> <td>294</td> <td>200</td> <td>1,124</td> <td>1,025</td> <td>2,149</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>( 2 )</td> <td>( )</td> <td>( 3 )</td> <td>( )</td> <td>( 5 )</td> <td>( 8 )</td> <td>( 13 )</td> </tr> <tr> <td>H15年10月変更</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>300</td> <td>330</td> <td>294</td> <td>200</td> <td>1,124</td> <td>1,025</td> <td>2,149</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>( 2 )</td> <td>( )</td> <td>( 3 )</td> <td>( )</td> <td>( 5 )</td> <td>( 8 )</td> <td>( 13 )</td> </tr> </tbody> </table>												~14年度	15年度	16年度	17年度	小 計	18年度~	合 計	計 画	300	330	294	200	1,124	1,025	2,149	(うち用地費)	( 2 )	( )	( 3 )	( )	( 5 )	( 8 )	( 13 )	H15年10月変更								実 績	300	330	294	200	1,124	1,025	2,149	(うち用地費)	( 2 )	( )	( 3 )	( )	( 5 )	( 8 )	( 13 )
	~14年度	15年度	16年度	17年度	小 計	18年度~	合 計																																																				
計 画	300	330	294	200	1,124	1,025	2,149																																																				
(うち用地費)	( 2 )	( )	( 3 )	( )	( 5 )	( 8 )	( 13 )																																																				
H15年10月変更																																																											
実 績	300	330	294	200	1,124	1,025	2,149																																																				
(うち用地費)	( 2 )	( )	( 3 )	( )	( 5 )	( 8 )	( 13 )																																																				

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A) · B · C

事業の進捗状況			計画全体に対する進捗		年次計画に対する進捗	
	事業費割合 (うち用地費)		52.3% [ / ]		100.0% [ / ]	
			( 38.5% ) [ / ]		( 100.0% ) [ / ]	
	主要工種	水産飲雑用水 ( 896百万円 )	30.8%		58.9%	
毎割合 (事業費)	漁業集落排水 ( 1,007百万円 )	20.6%		39.4%		
		漁業集落道 ( 196百万円 )	0.9%		1.7%	
説明	<p>水産飲雑用水施設については30.8%の整備(取水、送水、配水施設及び送水管の整備は完了し、今後は集落道整備前に配水管を整備し平成20年度に完成としたい。) 漁業集落排水施設については20.6%の整備(主要な排水管路の整備は完了し、今後は集落道敷地内に排水管を整備し処理場建設及びマンホールポンプを整備し平成20年度に完成としたい。) 集落道については平成17年度に用地買収し平成18年度から工事着手予定(平成20年度に完成としたい。)</p>					
問題点・解決見込み	<p>本地区の最重要課題であった生活水(飲料水)の確保について隣接する北金ヶ沢地区の水源を利用できる目的がたつたことから特に問題は無い。</p>					
事業効果発現状況	<p>供用開始前であることから現時点での効果は発現していない。</p>					

## (2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	[全国の評価] 漁村における生活環境の改善及び地域の活性化 水産業の振興と水産物の安定供給の確保 沿岸域の環境の保全・創造の推進 漁村の総合的な振興	[県内の評価] 漁村の生活環境の改善をいっそう推進するとともに、沿岸水域の水質保全を図り、もって漁村の健全な発展と水産業の振興に資する。
	当地区における評価	当地区は地域特性から漁業への依存度が高い。また、この地区の海岸一帯は千畳敷公園として国定公園に指定され県内外からの観光客も多く漁業と共に民宿を営む世帯が多い。しかし、当地区には上水道が普及しておらず個人単位で湧水、井戸水を飲用しているが井戸湧水が多く、安定した水の供給ができないのが現状である。このため、防災時及び衛生上の総合的な問題から水産飲雑用水施設の整備が望まれる。また、生活排水が河川に流されており、それが海に流れているため漁業集落排水施設の整備により地区の漁業生産の向上と生活環境の改善を図る。	
必要性	当地区の飲料水は井戸水及び湧水であるが安定したものではなく防災時などの対応も不安である。このため、本事業で早急に安定した水道水の供給が必要である。 また、家庭からの生活排水により沿岸の水質が悪化し磯漁場の汚染が深刻化しているため、本事業による地区の漁業生産の向上と生活環境の改善が急がれる。		(a)・b
適時性	漁村における生活環境の改善と総合的な振興を目的とした漁業集落環境整備事業基本計画の中で漁業集落排水施設整備、水産飲雑用水施設整備、集落道整備、防災安全施設整備、緑地・広場整備を一体化して整備し、沿岸地域の水質浄化による漁業振興を図る。		(a)・b
地元の推進体制等	地元の田野沢自治会総会及び役員会等で工事着手前に説明会、工事着手時説明会を通じて説明した結果では飲料水の確保と排水整備に対する要望が最も多い。さらに水道水が未普及地区ということもあり町水道事業としても全面的に協力し計画しているため、住民のほとんどが加入及び水洗化の意思表示をしている。		(a)・b
効率性	衛生的で安定した水道水が供給されることで安全かつ緊急時の迅速な対応ができることになるため、その効果は図りしれない。		

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A)・B・C

区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)漁業集落道	314 百万円	199 百万円	115 百万円
	(2)漁業集落排水施設	858 百万円	1,023 百万円	165 百万円
	(3)水産飲雑用水施設	359 百万円	41 百万円	318 百万円
	(4)緑地公園施設	75 百万円	911 百万円	836 百万円
	(5)防災安全施設	百万円	10 百万円	10 百万円
	総費用	1,606 百万円	2,184 百万円	578 百万円
便益項目 (B)	(1)し尿処理時間の短縮	34 百万円	36 百万円	2 百万円
	(2)漁具等運搬時間の短縮	553 百万円	570 百万円	17 百万円
	(3)一般車両走行時間の短縮	251 百万円	249 百万円	2 百万円
	(4)衛生環境向上作業時間の短縮	184 百万円	214 百万円	30 百万円
	(5)し尿処理経費の減少	235 百万円	249 百万円	14 百万円
	(6)衛生環境向上作業経費の減少	151 百万円	196 百万円	45 百万円
	(7)レクリエーション経費の減少	67 百万円	71 百万円	4 百万円
	(8)防災安全衛生向上効果	67 百万円	89 百万円	22 百万円
	(9)土地利用の制限の解消	84 百万円	339 百万円	255 百万円
	(10)水質向上による漁業生産の向上	151 百万円	392 百万円	241 百万円
	(11)港内浚渫費用の軽減	184 百万円	196 百万円	12 百万円
	(12)給水車による配水作業の軽減	101 百万円	267 百万円	166 百万円
	(13)維持管理費	101 百万円	374 百万円	273 百万円
総便益	1,961 百万円	2,494 百万円	533 百万円	
B / C		1.22	1.14	
【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等) 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(暫定版)平成14年3月				
【費用対効果分析における特記事項】 計画策定時(H12)において水産飲雑用水施設が田野沢地区で確保できる計画であったが、水源調査において当地区では必要水量が確保されないため、隣接する北金ヶ沢地区より取水する計画に変更したことにより整備費用が増となり、B/Cが若干減少する主要因となった。				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況		(A) · B · C
コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 排水管敷設について、自然流下方式とマンホールポンプ設置による圧送管設置方法を比較検討した結果、マンホールポンプ設置方式が埋設深度が浅くなり岩盤掘削費が軽減された。	(a) · b
代替案	【代替案の検討状況】 汚水処理構想策定時（H14.15見直し）において、公共下水、農集、漁集、合併処理等の事業手法を比較検討し、整備区域の大半が漁家という地域特性から本事業に決定しているため、代替案はない。	(a) · b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点		(A) · B · C
住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 計画策定に当たっては地元自治会の総会及び役員会等でヒアリングを実施しニーズに応じた計画となっている。	【住民ニーズ・意見】 沿岸海域の水質保全 水産飲雑用水施設の整備 漁業集落排水施設の整備 集落道の整備 公園整備
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 地域区分 津軽西北五 (1)対応状況 配慮している 配慮していない (2)対応内容 当地区の一部は国定公園の指定を受けているため、自然景観の維持保全と活用に配慮し工事実施している。また、土砂流出防止や景観に配慮するため、公園施設及び処理場施設には極力緑地整備を計画している。	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 (1)対応状況 配慮している 配慮していない (2)対応内容 管路埋設工事等に関しては環境に配慮し、重機等において排ガス対策型で低振動・低騒音タイプの選定し工事を実施している。 また、土地造成工事（公園施設・処理場）等においては雨水及び汲み上げた地下水に関しては、地下水のかん養機能の維持・向上に配慮し、地下浸透の計画としている。
地域の立地特性	農業振興地域、過疎地域、山村地域、自然公園法適用区域	

### 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
評価理由	ライフラインである水道水の衛生的かつ安定供給が急務であり、また、集落排水事業に対する地元の要望も強い。よって、残事業が3年で費用対効果が当初計画より若干下がっているものの、B/Cの値が1.14と経済的であると評価できるので、本事業の必要性は高いと判断される。			
備考				

### 4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり	対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続	計画変更 中止 休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
附带意見		
評価理由		